

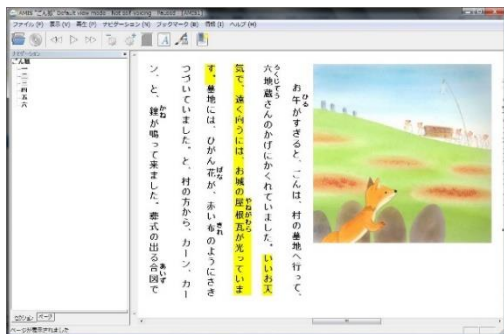
- ◆ 個々の特性に応じた学びの充実に向けて、本県の特別支援学校では、平成24年度よりICTを活用した授業実践をスタート
- ◆ 1人1台端末の実現を契機に、これまで蓄積してきた先進的な取組を全校に展開し、個別支援の一層の充実を図る

1人1台端末による個別カスタマイズで できることが「ふえる！」

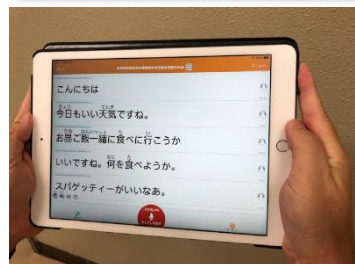
読むことが難しい

音声読み上げ機能

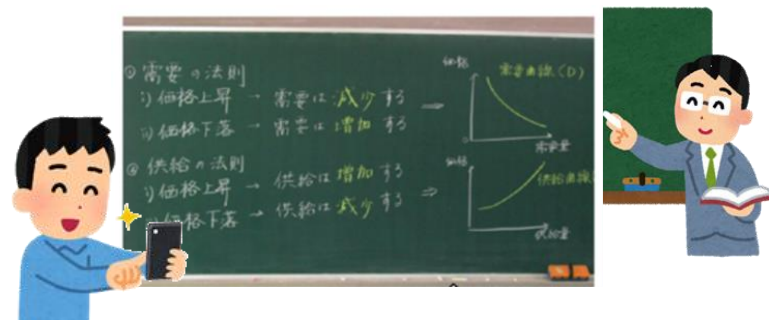
文字を読むことが難しくても、黄色のハイライトで読み上げ部分を示しながら音声読み上げを行うことで、教科書の内容がわかる



書くことが苦手



話し声を文字化するアプリを使うことで、音声を文字にしてメモをとることができる



授業の終わりに、板書を写真で記録することで、書くことが苦手でも、ノート代わりにして、後で授業を振り返ることができる

会話でのコミュニケーションが困難

視線入力装置を使うことにより、手が動かせなくても、目の動きで文字を入力できる



児童生徒の障害の実態に合わせて、タッチスイッチを工夫



スイッチで音声を出力し、コミュニケーションができる

オンライン会議システムの活用で 人と人が「つながる！」

盲学校の事例

県外の盲学校の生徒が「修学旅行で高知県に来る」ことをきっかけに、県外の学校との交流学习を実施

→ 生徒の声

「事前に知っていたので、すぐに打ち解けられた」
「お礼の色紙が、相手の学校に届いているのを確認でき、うれしかった」



中村特別支援学校の事例

作業学習（トイレ清掃）の実施

→ 生徒の声

「今までトイレ掃除をやってきたが、掃除できていない所がわかった」
「友達の頑張りをみる事ができた」



新型コロナウイルス感染症対策

生活リズムを確認する朝の会 など

